

施策評価表

施策分野	5-1 都市景観	
めざすまちの姿	○北部地域の田園・農村景観、山並みを背景とした自然景観、文化を感じる街並み景観が調和した宝塚らしさを感じる景観が保たれ、魅力を増している。	
施策	(1) 「宝塚らしさを感じる景観」の魅力の向上	
総合戦略での位置付け	○基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	—

施策の方向性	○住民主体のまちづくりや情報の発信により、市民意識の向上を図ります ○新たな土地利用において良好な景観の形成を誘導します ○自然や歴史・文化などにより培われた良好な景観の維持保全を推進します ○新たな制度設計やガイドラインについて検討します ○屋外広告物の規制・誘導を行い、違反広告物の減少を目指します	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	施設保全管理事業	屋外広告物事務推進事業
	都市景観保全・創出事業	

実施した主な内容	宝塚らしい良好な景観を維持・形成するため、地域団体との対話、景観重要建造物の新規指定、一定規模以上の建築物の新築等の届出、特定大規模の開発における個別協議、景観啓発活動、屋外広告物の許可・簡易除却などを実施した。	
----------	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		「市域全体の景観保全への市の取組が十分できている又はできている」と回答した市民の割合								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	20 (H30年度)	目標	21	-	22	-	-	-
				実績	28.6	-	28.3			
	達成状況とその理由	達成 守る・つくる・育てるの取り組みを通じ、宝塚らしさを感じる景観形成を推進してきたため								
	②	指標名								めざす方向性
		景観啓発等について協働で取組んだ市民団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		団体	-	目標	11	13	15	15	15	15
				実績	11	13	15			
	達成状況とその理由	達成 きずなづくり推進事業によって、昨年度より継続で2団体の採択があったため								
	③	指標名								めざす方向性
		「宝塚らしさを感じる魅力的な景観が保たれていると思う」と回答した市民の割合								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	-	目標	-	-	15	-	-	-
			実績	13.5	-	20.9				
達成状況とその理由	達成 守る・つくる・育てるの取り組みを通じ宝塚らしさを感じる景観形成を推進してきたため									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>A</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>宝塚市では景観計画に即し景観形成の方針や基準に基づき、都市景観の保全や形成を行っている。また、市民、事業者の理解と協力を得て、宝塚市景観計画に基づく景観施策や屋外広告物条例に基づく都市美化を推進している。これらの取り組みの結果として、市民意識調査（市民アンケート）で「市域全体の景観保全への市の取組が十分できている又はできている」と回答した市民の割合は令和3年度の実績値より0.3%下まわったものの目標値22%に対し28.3%を、「宝塚らしさを感じる魅力的な景観が保たれていると思う」と回答した市民の割合は目標値15%に対し20.9%といずれも目標値を上回る結果となった。その他、きずなづくり推進事業も活用し、市民と協働して「宝塚らしさを感じる」景観の維持、形成、保全に努めた。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>景観を守っていくためには、所有者、管理者による維持管理が必要不可欠であり、基準や届出等々の手続きだけでは良好な景観の維持につながらない。市民、事業者と併せ、特に行政機関への意識啓発が課題である。</p> <p>今後も届出等の手続きにおいての指導、助言は継続しながら、市民、事業者、行政と協働した景観啓発の取り組みを行う。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	〇まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了するとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(1) 地域の特性やニーズに応じた都市公園等の利活用の推進	
総合戦略での位置付け	〇基本目標 2 子どもがいいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	—

施策の方向性	〇地域ニーズに合った公園整備を推進します 〇公園の特性に応じた多様な主体による管理運営や利活用を推進します 〇地域の特性に応じた街路樹の整備に取り組みます	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	公園維持管理事業	既設公園整備事業
	既設公園整備事業_インフラ保全	

実施した主な内容	本市の緑を取り巻く状況の変化（生物多様性の保全に対する意識の高まり、協働で働く市民の高齢化による担い手不足、公園・緑地・街路樹などの維持管理費の増大）を受け、「宝塚市緑の基本計画」を約20年ぶりとなる令和4年4月に改訂。本計画に基づき令和5年度から3か年の予定でパークマネジメント計画や都市計画公園の見直し、街路樹管理計画の策定に取り組んでいる。 公園リノベーション事業などにより、地域の意見を反映した公園整備を行い、公園の有効活用や公園アドプト活動団体をはじめとする地域活動の活性化推進を図った。	
----------	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		公園アドプト制度により市民団体などが管理する公園数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		公園	65	目標	63	64	65	66	67	
			実績	64	65	65				
	達成状況とその理由	昨年度と同数で増減無しだったが目標値は達成した。								
	②	指標名								めざす方向性
		公園で開催されるイベントの数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		回	-	目標	160	174	188	202	216	
			実績	181	206	208				
	達成状況とその理由	ウィズコロナ期に回復しつつあった地域主催のイベント等が引き続き開催され、目標値を達成した。								
③	指標名								めざす方向性	
	市民一人当たりの公園面積								↑	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	m ²	5.2	目標	5.3	5.3	5.4	5.4	5.5		
		実績	5.2	5.3	5.7					
達成状況とその理由	令和5年度は北雲雀さずきの森緑地に隣接する「ティナちゃん森」緑地の寄附に伴い、目標値を達成するとともに昨年度より0.4m ² /人増加した。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
		実績								
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>A</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>市が実施する公園整備だけでなく、積極的な市民活動により目標値を達成したため、A評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>公園リニューアル事業の継続により、地域の意見を反映した公園整備を行い、公園の有効活用や公園アドプト活動団体をはじめとする地域活動の活性化を推進する。 パークマネジメント計画の策定などにより、公園の特性に応じた多様な主体による管理運営や活動団体の担い手不足の解消を図るとともに公園の活性化や利活用を推進する。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	〇まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(2) 花と緑が豊かで、美しく潤いのある都市空間形成の推進	
総合戦略での位置付け	〇基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	—

施策の方向性	〇市民の緑化意識の醸成を図ります 〇民有地の緑化を推進します 〇地域緑化モデル地区指定団体を支援します	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	花と緑の市民活動推進事業	緑化基金活用事業

実施した主な内容	生垣助成や保護樹の指定などにより、民有地緑化を推進した。 地域緑化モデル指定団体などの緑化団体へ花苗の配布等を行い、活動を支援した。 安倉フラワーガーデンを市民緑化推進基地として活用するとともに、文化芸術センター庭園なども活用して市民や緑化団体を対象とした花苗講習会などの積極的な開催や活動情報の発信、PRなどにより、市民の緑化意識醸成や緑化団体の育成支援に取り組んだ。	
----------	---	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		地域緑化モデル地区指定団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		団体	113	目標	114	114	114	114	115	
				実績	115	116	119			
	達成状況とその理由	活動団体構成の高齢化や担い手不足を解消するため、市民や緑化団体を対象とした花苗講習会の積極的な開催などを行った結果、緑化団体が昨年度より3団体増加した。								
	②	指標名								めざす方向性
		花苗講習会などの参加者団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		団体	-	目標	54	55	56	57	58	
				実績	54	46	31			
	達成状況とその理由	毎年実施している講習会の内容に大きな変化がないため、参加を見送った団体があったものと考えられる。								
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標						
実績										
達成状況とその理由										
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>地域住民の関心を高め、地域緑化の取り組み促進を図ったことにより指標①は目標値を達成したが、既存団体の技術力向上を図る取り組みは実施方法に課題を残し、指標②の達成ができなかったことからB評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>今後も継続して安倉フラワーガーデンを市民緑化推進基地として活用するとともに、文化芸術センター庭園なども活用して市民や緑化団体を対象とした花苗講習会などの積極的な開催や活動情報の発信、PRなどにより、市民の緑化意識醸成や緑化団体の育成支援に取り組む。</p> <p>パークマネジメント計画の策定により、市内のまちかど緑化の推進について、地域特性に応じた多様な主体による管理運営や活動団体の担い手不足解消を図るとともにまちかど緑化の活性化・利活用を推進する。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-2 緑化・公園	
めざすまちの姿	○まちを彩り、ゆとりを与える「みどり」の整備が進み、住む人、訪れる人を魅了しているとともに、地域ニーズにあった活動の場として公園の魅力が増している。	
施策	(3) 緑地や里山・まち山の保全・再生の推進	
総合戦略での位置付け	○基本目標2 子どもがいきいきと育ち、子育て世代に選ばれるまちづくり	—

施策の方向性	○緑地や里山・まち山の保全活動を促進します ○緑地や里山・まち山の保全活動団体を支援します	
--------	--	--

施策を構成する主な事務事業	北雲雀きずきの森緑地環境整備事業	

実施した主要内容	緑地や里山・まち山の保全活動団体へ資機材の提供等を行い、活動を継続的に支援した。 令和5年度から3箇年かけて策定する「宝塚市パークマネジメント計画等」において、「宝塚すみどりの基本計画」で生物多様性保全活動拠点に位置付けている里地まち山の今後の整備方針などについても検討を行う。	
----------	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		緑地や里山・まち山の保全活動参加者数（県立公園含む）								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	246	目標	251	256	260	265	270	
				実績	238	232	236			
	達成状況とその理由	昨年度より活動人数は増加したが目標値は達成しなかった。								
	②	指標名								めざす方向性
		北雲雀きずきの森緑地における環境保全団体の年間活動日数								→
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		日	-	目標	94	94	94	94	94	
				実績	97	96	96			
	達成状況とその理由	環境保全への関心が高く、維持して活動を行っているため、目標値を達成した。								
	③	指標名								めざす方向性
		「桜の園」における環境保全団体の年間活動人数								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	480	目標	509	540	572	606	643	
			実績	509	604	579				
達成状況とその理由	活動日の天候等により活動回数、活動人数に変動があるものの、目標値は達成した。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>自然環境の保全に対する意識が高まっており、市や団体の広報・PRにより指標②、③は目標値を達成できたため、B評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>今後も継続して緑地や里山・まち山の保全活動団体へ資機材の提供等を行い、活動を支援する。 令和5年度から3箇年かけて策定する「宝塚市パークマネジメント計画等」において、「宝塚市みどりの基本計画」で生物多様性保全活動拠点に位置付けている里地まち山の今後の整備方針などについても検討を行い、環境保全団体の活動促進を図る。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全		
めざすまちの姿	<p>○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。</p> <p>○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。</p>		
施策	(1) 温室効果ガス排出量の削減		
総合戦略での位置付け	—		—

施策の方向性	<p>○「COOL CHOICE」などの取組を通じて、エネルギー消費量の削減を進めます</p> <p>○地域主体の太陽光発電など再生可能エネルギーの導入を推進します</p>		
--------	--	--	--

施策を構成する主な事務事業	省エネルギー促進事業	再生可能エネルギー導入推進事業
	再生可能エネルギー基金活用事業	二酸化炭素排出抑制対策事業

実施した主な内容	<p>住宅や事業所の脱炭素を推進するために、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、太陽光発電設備の導入費用及び省エネルギー設備への更新費用の助成を実施した。また、住宅の太陽光発電設備については、阪神7市1町・神戸市等との連携により共同購入支援を行い、導入を促進した。市施設では、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用し、高効率空調への更新、LED導入を行った。啓発については、「省エネチャレンジたからづか」を実施するとともに、「たからっ子エコライフノート」の小学校の授業における活用を図るなど、子どもや家庭での省エネ実践の促進に取り組んだ。</p>		
----------	--	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		温室効果ガス排出量（市域）								↓
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		t-CO2	581713	目標	563542	545370	527199	509028	490857	472685
				実績	616303	569743	611912			
	達成状況とその理由	電力における火力発電の割合の増加によりCO2排出係数が上昇したため、温室効果ガス排出量は増加に転じた。								
	②	指標名								めざす方向性
		温室効果ガス排出量（市事務事業）								↓
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		t-CO2	20839	目標	19947	19055	18163	17271	16379	15487
				実績	21462	18606	20488			
	達成状況とその理由	電力使用量は減少したものの、電力における火力発電の割合の増加によりCO2排出係数が上昇したため、温室効果ガス排出量は増加に転じた。								
	③	指標名								めざす方向性
		太陽光発電設備の累計設置件数（固定価格買取制度適用）								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		件数	4843	目標	5200	5500	6000	6500	7000	7500
実績				5224	5592	5916				
達成状況とその理由	共同購入支援事業の実施等により、太陽光発電設備の導入を推進したことで、一定数の導入があったが、目標にはやや届かなかった。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>市域及び市事務事業における温室効果ガス排出量は、CO2排出係数が上昇したことにより前年度より増加となったものの、太陽発電設備等の共同購入支援事業や国の交付金を活用した地域脱炭素移行・再エネ推進助成金事業の実施により、住宅及び事業所への太陽光発電設備の導入及び省エネルギー設備への更新を推進することができたため、評価はBとする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金を活用した住宅及び事業所への太陽光発電設備の導入費用及び省エネルギー設備への更新費用の助成事業は、申請が多数あり、予算額をほぼ余すことなく活用され、脱炭素化を推進できた。ただし、設備・機器の内訳で見ると太陽光発電設備の対象が自家消費型であるため活用が少ないと考えられる。そのため、令和6年度の実施においては、蓄電池を合わせて導入の場合は、蓄電池も助成対象とし、太陽光発電設備の導入をさらに推進する。市施設においては、国の地域脱炭素移行・再エネ推進交付金の活用による太陽光発電設備の導入を検討する。啓発については、SNSによる情報発信に力を入れていくとともに、コロナ禍において実施を控えていた参加型事業の実施にも取り組み、これまで地球温暖化対策に関心がなかった人にアプローチしていく必要がある。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	<p>○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。</p> <p>○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。</p>	
施策	(2) 関係団体等との連携による多様な生物が存在する豊かな自然環境の保全	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	<p>○生物多様性の保全対策を充実します</p> <p>○人の営みと自然環境との調和を取りながら、生物多様性の保全意識の向上を図ります</p> <p>○特定外来生物に関する情報を提供するとともに、環境保全活動を通じて防除に努めます</p>	
施策を構成する主な事務事業	生物多様性戦略推進事業	
実施した主要内容	<p>生物多様性の保全への関心を高め、実践を広めるために、たからづかECO講座やホテル観賞のタベ、水辺の生き物探検、オオキンケイギク駆除など、多くの啓発イベント等を実施するとともに、SNS等による情報発信を行った。オオキンケイギクの駆除については、SNSで多くの閲覧があり、マスコミによる取材を受けるなど注目を集めた。また、生物・生態系のスポット調査を行うとともに、生物多様性たからづか戦略の改定に着手した。</p>	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		環境保全活動団体数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		団体数	25	目標	26	27	28	29	30	31
	達成状況とその理由	市と連携した取組を行っている1団体が環境都市宝塚推進市民会議に加入し、1団体増となった。								
	②	指標名								めざす方向性
		生物多様性たからづか戦略の進捗率								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		率	52	目標	60	70	80	90	100	100
	達成状況とその理由	啓発イベントの参加者数は増加したが、目標達成又は基準年度より改善した項目の数の計は、前年度と同数であり、進捗率は横ばいである。								
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標						
	達成状況とその理由									
	④	指標名								めざす方向性
単位		現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>多くの啓発イベントやSNSによる積極的な情報発信により、多くの市民がイベントに参加し、情報に触れる機会は提供できたが、環境保全活動団体への加入者は少なく、団体の活動自体も高齢化や世代交代が進まないことなどから、活性化しているとは言い難い状況である。環境保全活動団体数は1増となったが、目標には届かなかったことからB評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>生物・生態系については、全スポット129のうち32スポットが未調査であり、令和7年度の生物多様性たからづか戦略の改定に向けて、令和6年度に残り32スポットの調査を行う。また、令和6年度は、生物多様性たからづか戦略の改定の基礎調査業務を委託により実施する。</p> <p>特定外来生物については、リストを市ホームページに掲載しているものの、情報量は少ない。昨年度注目されたオオキンケイギク駆除については、逆瀬川における駆除活動の日数を1日から3日に増やすとともに、市域で駆除が広がるように、駆除方法の周知を図っていく。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	<p>○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。</p> <p>○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。</p>	
施策	(3) 健康に暮らせる環境の維持	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	<p>○公害の未然防止に努めます</p> <p>○河川などの水質保全に努めます</p>	
施策を構成する主な事務事業	公害対策事業	西谷地区生活排水対策推進事業
実施した主な内容	<p>健康被害のおそれがある光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントや微小粒子状物質（PM2.5）等の大気汚染物質、河川や地下水等の水質及び自動車騒音の常時監視、航空機騒音測定等の実施により、市内各所で良好な環境が維持されていることを確認するとともに、公害の発生源となり得る事業場に対する指導、市民からの相談への対応等を行った。</p> <p>西谷地区の水質保全のため、同地区に設置されている主に処理対象人数10人以下の合併処理浄化槽の法定維持管理を実施している者に補助金を交付し、適性な維持管理を促進した。</p>	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		環境基準達成率（大気質）								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	89	目標	89	89	89	89	89	89
			実績	89	89	89				
	達成状況とその理由	良好な環境が維持されたことで、目標値を達成することができた。								
	②	指標名								めざす方向性
		環境基準達成率（水質）								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	96	目標	96	96	96	96	96	96
			実績	96	96	96				
	達成状況とその理由	人為的な発生源による人の健康の保護に関する環境基準の超過は確認されず、目標値を達成することができた。								
③	指標名								めざす方向性	
	環境基準達成率（騒音）								↑	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	%	94	目標	94	94	95	95	95	95	
		実績	97	97	96					
達成状況とその理由	良好な環境が維持されたことで、目標値を達成することができた。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
		実績								
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>A</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>環境基準達成に向けた監視や事業場に対する指導、市民からの相談への対応等をしっかり行った。実績値についても目標値に達しており、良好な環境が維持されていると言えるため、Aとする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>大気質については、項目「光化学オキシダント」が達成できていない。これは全国での達成率が0.1%と大変困難なものがあるが、県と連携し、高濃度により健康被害が発生するおそれがある際に、市民に向けて注意点を周知する体制を整備し、健康被害の防止に努めている。水質については、人の健康に係る環境基準項目において、自然由来とみられる基準値の超過が確認されているが、周辺の利水状況から健康被害の恐れはないと推測される。今後も監視を継続し、水質の状況を把握する。道路騒音については、面的な評価を継続して行う。航空機騒音については、騒音に関する情報収集を行いながら、測定値が環境基準内であるかを確認していく。</p> <p>現在、良好な環境が維持されていると考えるが、これを維持していくには、現状の調査を継続するとともに、必要に応じて注意喚起を行っていくことが必要である。また、さらに環境を向上させていくには、国の動向や法改正の状況、他市の実施の状況を注視・研究し、対応を図っていく。</p> <p>西谷地区生活排水対策推進事業については、合併処理浄化槽の老朽化が進み、法定維持管理費用の負担が高くなっていることや市南部地域の平均的な下水道料金と比べて高いことから、令和6年度においては補助額を増額する。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-3 環境保全	
めざすまちの姿	○地球温暖化の防止に向け、省エネルギー化の取組や再生可能エネルギーの導入が進んでいる。 ○自然とのふれあいや学びを通して、環境への関心が高まり、生物多様性が保全され、人の営みと自然がつながっている。	
施策	(4) 環境保全を担う人材の育成	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	○環境教育・学習を推進します ○環境保全活動を支援します	
--------	---------------------------------	--

施策を構成する主な事務事業	環境推進事業	

実施した主な内容	環境保全への関心を高め、環境保全活動に取り組む人を増やしていくために、環境保全活動団体・事業者が参加する環境都市宝塚推進市民会議等と協働し、環境フォーラムや、全7回のECO講座等の啓発事業を行った。	
----------	---	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		たからづかECO講座の受講者数（累計）								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	443	目標	465	485	505	525	545	565
				実績	443	463	482			
	達成状況とその理由	全7回のコース受講者は19名であり、目標には届かなかった。								
	②	指標名								めざす方向性
		たからづか環境マイスター登録者数								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	6	目標	6	10	20	25	30	35
				実績	6	6	6			
	達成状況とその理由	ECO講座の実施により人材育成を行い、マイスター登録者を増やすこととしているが、新たな登録には至らなかった。また、環境保全活動団体からの登録もなかった。								
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標						
実績										
達成状況とその理由										
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>環境フォーラムについては、講演や発表など充実した内容で開催し、多くの参加があり、環境保全の関心を高めることができた。コロナ禍後の令和4年度に再開したたからづかECO講座については、令和5年度も引き続き実施したが、地域の環境保全活動のリーダーとなりうるたからづか環境マイスター登録者を増やすには至らなかったため、B評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>コロナ禍で見送っていたたからづかECO講座の開催及び環境フォーラムの会場参加型での開催を再開し、啓発を活発に行っているが、環境保全に取り組む人が大きく増えたり、たからづか環境マイスターの登録者が増えたりするには至っていない。環境マイスター登録制度の見直しを環境基本計画の改訂に合わせて行っていく。環境保全に関心のある人がつながり、広がるSNS等を利用した新たな仕組みづくりの検討も必要であると考えます。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会	
めざすまちの姿	○ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる	
施策	(1) ごみの減量・資源化の推進	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	<p>○スマートフォンアプリなどを活用した不用品の販売などごみを作らない生活の工夫や資源ごみの店頭回収など、3Rの取組を推進します</p> <p>○事業系ごみの分別徹底による資源化や廃棄食材の削減などに努め、ごみの減量化を推進します</p> <p>○中間処理におけるリサイクルを推進し、焼却ごみの削減を図ります</p>	
施策を構成する主な事務事業	清掃総務事業	ごみ減量化・資源化推進事業
	緑のリサイクル事業	
実施した主要内容	<p>○ごみ減量化のインセンティブなどを目的として、一般廃棄物減量等推進審議会を3回開催し、事業系ごみ手数料の見直し（値上げ）の答申を受けるに至った。</p> <p>○リユース事業者と協定を締結し、市民自らが不要になった粗大ごみ等をリユースできる仕組みの構築を行った。</p>	

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		市民一人1日当たりの燃やすごみ平均排出量（家庭系ごみ）								↓
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		g/人・日	412.6	目標	412.4	412.1	411.9	411.7	411.5	411.2
			実績	405.5	396.4	383.7				
	達成状況とその理由	市民のごみ減量意識の高まりにより、各家庭から排出されるごみ量は順調に減量した。								
	②	指標名								めざす方向性
		事業系燃やすごみ排出量								↓
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		t	14363	目標	14266	14169	14072	13975	13878	13781
			実績	14201	14312	14430				
	達成状況とその理由	新型コロナが5類へ移行したことを受け、事業活動が戻ってきており、事業系燃やすごみが増量傾向に転じている。								
③	指標名								めざす方向性	
	焼却ごみ量								↓	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
	t	53232	目標	53042	52853	52663	52473	52284	52094	
		実績	52242	51184	48765					
達成状況とその理由	②は増加しているものの、①の達成度合が大きいいため、全体では指標を達成できた。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
		実績								
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>事業系のごみ排出量は増加傾向にあるが、家庭系の燃やすごみ排出量は市民意識の高まりにより指標は目標を大きく下回ることができ、結果として焼却ごみ量は減少している。 評価としては、事業系ごみが目標達成できていないことから「B」としている。 今後は事業系ごみの減量が達成できるよう施策展開していきたい。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化に向けての啓発方法は、スマホアプリを活用する方策を提案するなど感染リスクも考慮しつつ現在社会にマッチした方法を検討していく必要がある。 ・新型コロナが5類へ移行したことを受け、市民生活や事業活動が戻ってきている。そのため事業系燃やすごみが増加してきている。事業系ごみ削減のインセンティブとして、減量審の答申を基に一般廃棄物処理手数料の改定を行う（R6年条例改正、R7年4月施行）。また、改定にあたっては、燃やすごみより安価な資源ごみの項目を新たに追加し、ごみの減量を目指す。 		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-4 循環型社会	
めざすまちの姿	○ごみの発生を抑え、資源のリサイクルが進むなど循環型社会づくりが進んでいる	
施策	(2) 安全で安定したごみ処理	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	<p>○計画的に修繕するなど、ごみ処理施設を適切に維持管理します</p> <p>○事業の進捗状況などの情報を発信し、市民の信頼を得ながら、エネルギー回収推進施設（ごみ焼却炉）等の新ごみ処理施設を整備します</p> <p>○高齢化により増える一人暮らしでごみ出しが難しい高齢世帯に対応した福祉収集に取り組みます</p>	
--------	--	--

施策を構成する主な事務事業	し尿処理事業	塵芥処理事業
	新ごみ処理施設整備事業	塵芥収集事業
	し尿収集事業	

実施した主要内容	<p>○仮設リサイクル施設の建設は予定どおり完了した。令和6年度から稼働する。</p> <p>○きずな収集対象世帯の増に対応するため、直営収集していた紙布収集を全て民間委託とし、5班10名体制（+班長1名）から、6班12名体制（+班長2名）に拡充した。</p>	
----------	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		施設の緊急停止回数								↓
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		回	0	目標	0	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0			
	達成状況とその理由	施設の老朽化に伴い、不具合の発生頻度は増加傾向ではあるが、適切な対応により緊急停止には至らなかった。								
	②	指標名								めざす方向性
		エネルギー回収推進施設（ごみ焼却炉）の整備工事進捗率								↑
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	-	目標	0	0	0	1	14	49
				実績	0	0	0			
	達成状況とその理由	事前工事が終了し、計画どおり進捗している。エネルギー回収型廃棄物処理施設の整備工事は令和6年度着手予定。								
	③	指標名								めざす方向性
		単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
				目標						
実績										
達成状況とその理由										
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値 (R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>A</p>	<p>評価の 理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ処理施設やし尿処理施設については、日常点検や定期点検を的確に実施し、また計画修繕や適時の修繕、整備を実施したため、施設を停止することなく安定的に運転し、市内で発生したごみやし尿を安定的かつ衛生的に処理し、衛生的な生活環境を維持することができた。 ・新ごみ処理施設については、ほぼ計画通り事業の進捗ができており、予定通り令和6年度から仮設リサイクル施設が稼働することになった。
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ処理施設整備については、引き続き計画どおり事業が進捗するよう事業者との協議を密にするなどスケジュールを管理する。また、新施設が稼働するまでの間は、現施設が緊急停止等することがないように適切に管理する。 ・きずな収集については、対象世帯の増などを適切に把握し、対応していく。 		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生	
めざすまちの姿	○まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。	
施策	(1) 市民との協働による美化活動の推進	
総合戦略での位置付け	—	—

施策の方向性	<p>○まちを美しくするという市民意識の維持・向上に努めます</p> <p>○ごみの不法投棄防止対策を進めます</p>	
--------	---	--

施策を構成する主な事務事業	都市美化推進事業	不法投棄未然防止事業
	都市美化推進事業	

実施した主要内容	<p>春秋の2回、「宝塚を美しくする市民運動」において一斉清掃を実施し、コロナ禍前には及ばないものの400を超える団体の参加があった。</p> <p>不法投棄防止については、西谷地区において監視カメラを1台増設した。また、西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県と連携し、監視パトロールや不法投棄物の撤去を行った。</p> <p>市民からの苦情のあった管理不十分な空き地等の所有者に対し、適正管理の啓発を行った。</p>	
----------	--	--

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		「宝塚を美しくする市民運動」参加団体数								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		団体数	64	目標	80	80	400	430	435	440
				実績	84	356	423			
	達成状況とその理由	令和5年度以降の目標を令和4年度の実績に基づき設定したが、目標を超える団体数の参加があった。								
	②	指標名								めざす方向性
		不法投棄された家電リサイクル対象廃棄物の回収件数								↓
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		件数	28	目標	20	18	16	14	12	10
				実績	14	21	14			
	達成状況とその理由	啓発活動の推進や関係機関と連携、監視カメラの増設により、推移としては件数は着実に減少しており、目標を達成することができた。								
	③	指標名								めざす方向性
		「宝塚を美しくする市民運動」でのごみ回収量								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		t	21.7	目標	40	40	150	155	160	165
実績				21	117	129				
達成状況とその理由	参加団体数については大きく増加したが、ごみ回収量はやや増加に留まり、目標に届かなかった。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
			実績							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>不法投棄された家電リサイクル対象廃棄物の回収件数は、目標を達成した。「宝塚を美しくする市民運動」の一斉清掃の参加団体数についても目標を達成した。しかし、ごみの回収量については、目標に届かなかったためB評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>「宝塚を美しくする市民運動」について、コロナ禍においては個別清掃であったが、令和4年度に春秋ともに一斉清掃として3年ぶりに実施し、令和5年度も引き続き一斉清掃として実施した。参加団体数は、コロナ禍以前の数には戻っていないものの、令和4年度を大きく上回った。しかし、ごみ回収量は、やや目標を下回った。より多くの団体、より多くの人に参加してもらうため、共催者である宝塚市自治会連合会及び宝塚市自治会ネットワーク会議と協議を行っていく。不法投棄については、減少しているものの、未だ一部地域に不法投棄が存在する。監視カメラの設置が効果的であり、令和5年度において1台増設したが、さらなる設置も検討していく。あわせて、西谷地区不法投棄未然防止協議会及び兵庫県と引き続き連携するとともに、市職員によるパトロールも行っていく。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		

施策評価表

施策分野	5-5 都市美化・環境衛生		
めざすまちの姿	○まちの美化活動により、きれいで快適な生活環境が保たれている。		
施策	(2) 環境衛生の維持		
総合戦略での位置付け	—		—

施策の方向性	○ペットの適正管理を進めます ○害虫発生未然防止を図ります ○墓地の長期的・安定的な供給を推進します		
施策を構成する主な事務事業	西山霊園管理事業	火葬場管理事業	
	長尾山霊園管理事業	ペットとの共生都市推進事業	
	畜犬対策事業	害虫駆除衛生事業	
	宝塚すみれ墓苑管理事業		
実施した主要内容	狂犬病予防として、畜犬の登録申請受付、鑑札の交付、予防接種の推奨を行った。 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等の助成を実施するとともに、ペットの飼養に関する啓発、苦情相談などを行った。 害虫発生未然防止のため、公共用水路への薬剤散布、共用下水管への薬剤散布等の業務を実施した。 宝塚すみれ墓苑の樹木葬式墓所の貸出、長尾山霊園の市外居住者への貸出を開始した。		

成果指標	①	指標名								めざす方向性
		狂犬病予防注射接種率								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		%	77	目標	78	78	78	78	79	79
				実績	79	74	75			
	達成状況とその理由	西谷地区を除き集合注射を実施しなかったが、集合注射を実施していた令和2年度以前の接種率と同程度の率である。畜犬の死亡届等を提出していない場合もあり、実際の接種率は実績より高い。								
	②	指標名								めざす方向性
		飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数（累計）								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		件数	119	目標	120	115	110	105	100	95
				実績	49	43	28			
	達成状況とその理由	令和5年度の手術実施数は28（申請72）であり、昨年度の43（申請83）より減少した。手術申請に取り組む人が少ない地域もあり、減少傾向である。								
	③	指標名								めざす方向性
		市営霊園使用者数								↑
		単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8
		人	9668	目標	9797	9943	9981	10110	10194	10278
実績				9808	9936	10028				
達成状況とその理由	宝塚すみれ墓苑の樹木葬式墓所の貸出、長尾山霊園の市外居住者への貸出を開始したことにより、目標に達することができた。									
④	指標名								めざす方向性	
	単位	現状値(R2)		R3	R4	R5	R6	R7	R8	
			目標							
達成状況とその理由										

<p>担当部局 評価</p>	<p>B</p>	<p>評価の 理由</p>	<p>市営霊園使用者数は目標に到達したが、狂犬病予防注射接種率及び飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費助成金に係る手術実施数については目標に達しなかったため、B評価とする。</p>
<p>施策を進める上での課題とそれを踏まえた今後の取組</p>	<p>畜犬対策事業については、畜犬登録制度等の改正に応じて、現状の畜犬システム（本市独自システム）の改修等、対応を検討する。 飼い主のいない猫やペットによるトラブルを減らしていくために、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費等の助成の利用の促進、ペットの飼養に関する啓発、苦情相談などを継続的に行っていく。 害虫駆除業務については、害虫駆除相談に対応しながら、計画的、継続的に実施していく。 墓地の長期的・安定的な供給に向けては、長尾山霊園は施設・設備の老朽化対応を図っていく。宝塚すみれ墓苑は、令和5年度に貸出を開始した樹木葬式墓所について、今一度、現地説明会や情報発信によりPRを行い、貸出を増やしていく。</p>		
<p>行政評価 委員会 評価</p>	<p>令和6年度外部評価対象外</p>		